

參謀總長

參拾五部ノ内第15號

御前會議決定第一號

昭和二十年六月八日

今後採ルベキ戰爭指導ノ基本大綱

方針

七生盡忠ノ信念ヲ源力トシ地ノ利人ノ和ヲ以テ飽ク迄戰爭ヲ完遂シ以テ國體ヲ護持シ皇土ヲ保衛シ征戰目的ノ達成ヲ期ス

要領

- 一、速カニ皇土戰場態勢ヲ強化シ皇軍ノ主戰力ヲ之ニ集中ス
- 爾他ノ疆域ニ於ケル戰力ノ配置ハ我が實力ヲ勘案シ半敵米ニ對スル戰爭ノ遂行ヲ主眼トシ兼テ北邊ノ情勢急變ヲ考慮スルモノトス
- 二、世界情勢變轉ノ後徵ニ投シ對外諸施策ヲニ對「ソ」對支施策ノ活

5
機強ナル實行ヲ期シ以テ戰爭遂行ヲ有利ナラシム

三、國內ニ於テハ舉國一致島土決戰ニ即應シ得ル如ク國民戰爭ノ本質

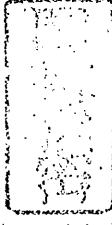
ニ徹スル諸般ノ態勢ヲ整備ス、就中國民義勇隊ノ組織ヲ中軸トシ益

々全國民ノ團結ヲ鞏化シ愈々戰意ヲ昂揚シ物的國力ノ充實特ニ食糧

ノ確保並特定兵器ノ生産ニ國家施策ノ重點ヲ指向ス

四、本大綱ニ基ク實行方策ハ夫々擔任ニ應ジ具體的ニ企畫シ速急ニ之

ガ實現ヲ期ス



參拾五部ノ内第 15 號

御前會議報告第一號

昭和二十年六月八日

國力ノ現狀

一、要旨

戰局ノ急迫ニ伴ヒ陸海交通線ニ重要生産ハ益々阻害セラレ食糧ノ逼迫ハ深刻ヲ加ヘ近代的物的戰力ノ綜合發揮ハ極メテ至難トナルベク民心ノ動向亦深ク注意ヲ要スルモノアリ

從ツテ之等ニ對スル諸施策ハ眞ニ一瞬ヲ争フベキ情勢ニ在リ

二、民心ノ動向

國民ハ胸底ニ忠誠心ヲ存シ敵ノ停寇等ニ對シテハ抵抗スルノ氣

000 25

0465

28
溝ヲ有シアルモ他箇局面ノ轉回ヲ冀求スルノ氣分アリ

軍部及政府ニ對スル批判逐次盛トナリ動モスレバ指導層ニ對スル
信賴感ニ動搖ヲ來シツツアル傾向アリ且國民道義ハ頽廢ノ兆アリ

又自己防衛ノ觀念強ク激闘奉公精神ノ昂揚充分ナラズ庶民層ニハ

農家ニ於テモ^親自棄的風潮アリ指導的知識層ニハ焦燥和平黨

求氣分底流シツツアルヲ看取ス　カカル情勢ニ乘ジ一部野心分子

ハ變革的企圖ヲ以テ蠢動シアル形跡アリ

沖繩作戰最悪ノ場合ニ於ケル民心ノ動向ニ對シテハ特ニ深甚ノ注

意ト適切ナル指導トヲ必要トス　尙今後敵ノ思想擾亂行動ハ盛ト

ナルヲ豫期セザルベカラズ

三 人的國力

(1) 人的國力ハ戰爭ニ因ル消耗モ未ダ大ナラズ物的國力ニ比スレバ尙餘裕アリ唯其ノ使用概シテ效率的ナラズ動員及配置ハ生産ノ推移ニ即應セス人員ノ偏在遊休化ヲ見ツツアル現狀ニシテ徹底的配置轉換及節率増進ヲ強行スレバ人的國力ノ部面ニ於テハ戰爭總行ニ大ナル支障ナク之ガ活用ノ如何ニ依リテハ戦力總出ノ餘地アリト認メラレ得ル但シ今後ニ於テ大規模ノ兵力動員アルニ於テハ必ズシモ樂觀ヲ許サザルモノアリ

新

(2) 戰爭ニ基ク増殖率低下ノ後遺ク顯ハレ且地位ノ低下ハ特ニ戒心ヲ要ス

四 輸送力及通信

(1) 汽船輸送力ニ付テハ使用船腹量急激ニ減少シテ現在約百萬總噸
屯ナルモ而カモ燃料ノ不足、敵ノ妨害激化及荷役力ノ低下等ノ爲
著シク運航ヲ阻害サレアリ若シ最近ニ於ケル損耗ノ實績ヲ以テ推
移スレバ本年末ニ於テハ使用船腹量ハ殆ンド皆無ニ近キ状態ニ立
到ルベシ且大陸トノ交通ヲ確保シ得ルヤ否ヤハ沖縄作戰ノ如何ニ
懸ル處大ニシテ最悪ノ場合ニ於テハ六月以降殆ド其ノ計畫的的交通
ヲ期待シ得ザルニ至ルベシ

機帆船輸送力モ亦燃料不足及敵ノ妨害ニ因リ急激ニ減少スル虞大
ナリ

30

(ロ) 鐵道輸送力ハ最近ニ於ケル車輛ハ施設等ノ疲弊^弊ニ加ヘ空襲被害ニ因リ遂次低下シツツアリ今後敵ハ交通破壊空襲ヲ激化スベク爲ニ鐵道輸送力ハ各般ノ努力ヲ難シツツアルモ前年度ニ比シ二分ノ一程度ニ減退スベク特ニ中期以降一貫性ヲ喪失シ局地輸送力トナル虞大ナリ

(ハ) 陸上小運送力即ニ港灣荷役力ハ資材、燃料及勞務事情即ニ運管體制ノ不備等ニ伴ヒ末端輸送及海陸輸送ノ接続ノミナラズ鐵道及海上輸送自體ニ對シテモ重大ナル隘路ヲ形成シツツアリ尙港灣ニ付テハ今後敵襲ニ依リ其ノ機能ヲ停止セララルル虞大ナリ

(ニ) 通信ハ資材、要員等ノ事情即ニ空襲被害ニ因リ其ノ機能ヲ阻害

セラレツツアリ今後空襲激化等ニ伴ヒ本年中期中以降ニ於テハ各種通
信連絡ハ甚シク困難トナルベシ

軍物的国力

(1) 鐵鋼生産ハ主トシテ原料炭及鑛石ノ輸送入手難ニ因リ現在概ネ
前年同期ニ比シ四分ノ一程度ニ陥リ鋼船ノ新造補給ハ本年中期中以降
ハ全然期待シ得ザル狀況ナリ尙所在資材ノ活用戦力化ニ付テモ實行
上多大ノ困難ヲ克服スルノ要アリ

(2) 東部及西部地域ニ對スル石炭ノ供給ハ生産及輸送ノ減少ニ伴ヒ
著シク低下シ空襲被害ノ増大ト相俟ツテ中樞地帯ノ工業生産ハ全間
的ニ下向シツツアリ中期中以降ノ輸送ノ狀況ニ依リテハ中樞地帯ノ工

業ハ石炭供給ノ杜絶ニ依リ相當部分運轉休止トナル虞^大ナリ

(ハ)大陸工業鹽ノ運送減少ニ因リ曹達ヲ基^盤トスル化學工業生産ハ加速的ニ低下シツツアリ特ニ中期以降原料鹽ノ取得ハ危機ニ直面スベク之ガ爲輕命鹽及人糞石油ノ生産ハ固ヨリ火藥、爆藥等ノ確保ニモ困難ヲ生ズルノ結果トナルベシ

(ニ)液體燃料ノ供給ハ今秋日滿支ノ自給ニ俟ツノ外ナク貯油ノ拂底ト増産計畫ノ進行遅延ニ伴ヒ航空燃料等ノ逼迫ハ中期以降戰爭遂行ニ重大ナル影響ヲ及ボス情勢ナリ

(ホ)航空機ヲ中心トスル近代兵器ノ生産ハ空襲ノ激化ニ因ル交通及生産ノ破壊等ニ節記原材料、燃料等ノ逼迫ノ爲在來方式ニ依ル量産

遂行ハ遠カラズ至難トナルベシ

六 國民生活

食糧ノ逼迫ハ漸次深刻チ加ヘ本端境期ハ開戦以來最大ノ危機ニシテ大陸糧穀及食糧鹽ノ計畫輸入ヲ確保シ得ルトモ今後ノ國民生活ハ強度ニ規制セラレタル基準ノ糧穀ト生理的的必要最少限度ノ鹽分ヲ漸ク採取シ得ル程度トナルヲ覺悟セザルベカラズ

更ニ海外輸入ノ妨害、國內輸送ノ分断、天候及敵襲等ニ伴フ生産減少等ノ條件ヲ考慮ニ入ルトキハ同地的ニ饑餓状態ヲ現出スルノ虞アリ治安上^モ樂觀ヲ許サズ

尙來年度ノ食糧事情ガ本年度ニ比シ更ニ深刻化スベキハ想察ニ難カ

ラズ

(ロ) 物價騰貴ノ趨勢著シク關ノ横行、經濟道義ノ頹廢等ニ依ル經濟秩序紊亂ノ傾向漸ク顯著トナリ今後ノ推移ニ依リテハイインフレーション昂騰ノ極盛ニハ戰時經濟ノ組織的運營ヲ不能ナラシムルノ虞ナシトセズ

判 決

國力ノ現状以上ノ如ク加之敵ノ空襲激化ニ伴ヒ物的國力ノ充實極メテ
困難ナル狀況ニアリト雖モ之カ最大ノ隘路ハ生産意欲^(欲)並敢闘精神ノ不
足ト國力ノ戦力化ニ關スル具體的施策ノ不徹底ナルトニ存ス。

之カ爲國民ノ戰意特ニ皇國傳統ノ忠誠心ヲ遺憾ナク發揮セシムルト共
ニ戰爭遂行ニ必要ナル最少限ノ戦力維持ヲ可能ナラシムル如ク八、九
月頃迄ニ完了セシムルコトヲ目途トシ強力ナル各種具體的施策ヲ講ス
ルノ要アリ